

土・ひと・暮らしをつなぐ、香川の交流誌

# きらり

5

2022 MAY

ぷちぷち、はじける、つややかレッド。



JA香川県の

【あぐり＆らいふ SPECIAL】

農業 地域 組織 経営

3年間の目標です。

第7次中期経営計画、始動！



JA香川県は  
自己改革に  
取り組んでいます！

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

農業

地域

組織

経営

3年間の目標です。

# 第7次中期経営計画、始動!

JA香川県は、「第7次中期経営計画」（令和4年度～令和6年度）を策定し、  
去る3月26日の「第25回臨時総代会」にて承認されました。  
ここでは、その中から一部の取り組みを抜粋してご説明します。



このような内外の情勢に対応し、組合員・地域の農業と暮らしを守るため、中期経営計画を策定、各事業計画・行動計画の実現に向けて取り組みます。

## 社会・経済と農業を取り巻く情勢は？

日本の社会・経済をめぐっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした価値観の変化やデジタル化、自然災害への不安、国連が掲げるSDGsや農林水産省が示す「みどりの食料システム戦略※」などの持続可能な社会の実現に向けた要請の強まりなど、今はまさに時代の転換期といえ、日本社会や経済全体の不安定な状態が続くものと考えられます。

その中で、日本の農業は、農村部における人口減少、急速な高齢化が進み、基幹的農業従事者は今後の10年間で50万人減少することが予測されています。一方で、大規模農業の拡大、スマート農業の広まりなどにより、農業構造は大きく変化しています。また、コロナ禍を契機とした田園回帰志向の高まりなど、地域の新たな流れも見られるようになってきました。消費に関しては、食料安全保障の確立や食料自給率向上への関心が高まりつつあり、政府は食料自給率を45%に上げる目標を示しています。

こうした情勢の中、JAの経営は、超低金利政策の継続などから資金運用環境の好転が見込めず、貸出金利息収入や共済付加収入などの減収を主因に事業総利益は減少傾向が続いています。さらに、人口減少・高齢化による組合員減少に伴い組織基盤の弱体化の懸念や政府による金融再編支援措置など外部環境の変化もあります。これらを踏まえ、当JAでは経営の健全性の確保やさらなるガバナンス向上・内部統制強化を進め、経営基盤の強化に取り組み、経営の継続性を確保することとしています。

※食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するために令和3年5月に策定。化学農薬・化学肥料使用量の削減や有機農業の面積拡大を目標とする。

## ビジョン

「食」と「農」を核にした心に響く総合事業サービスの提供により、  
組合員・利用者の生涯にわたるパートナーとして  
地域に必要とされる組織であり続ける。



## スローガン

**農業と地域に全力投球**

これが、3年間の取り組みを貫く“柱”です!

# 第7次中期経営計画の 「4つのプラン」

## 【農業振興プラン】

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を目標に、農業と食の大切さを追求し、農業者とともに地域の農業振興に貢献します。また、スマート農業への対応と新たな農業の提案、農業生産支援・経営支援事業の強化、販売力の強化に取り組みます。



## 【地域活性化プラン】

「地域の活性化」を目標に、組合員と地域のみなさまの多様なニーズに応え、協同組合ならではの心に響くサービスを提供するとともに、組合員と地域のみなさまとの連携により地域社会の課題解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

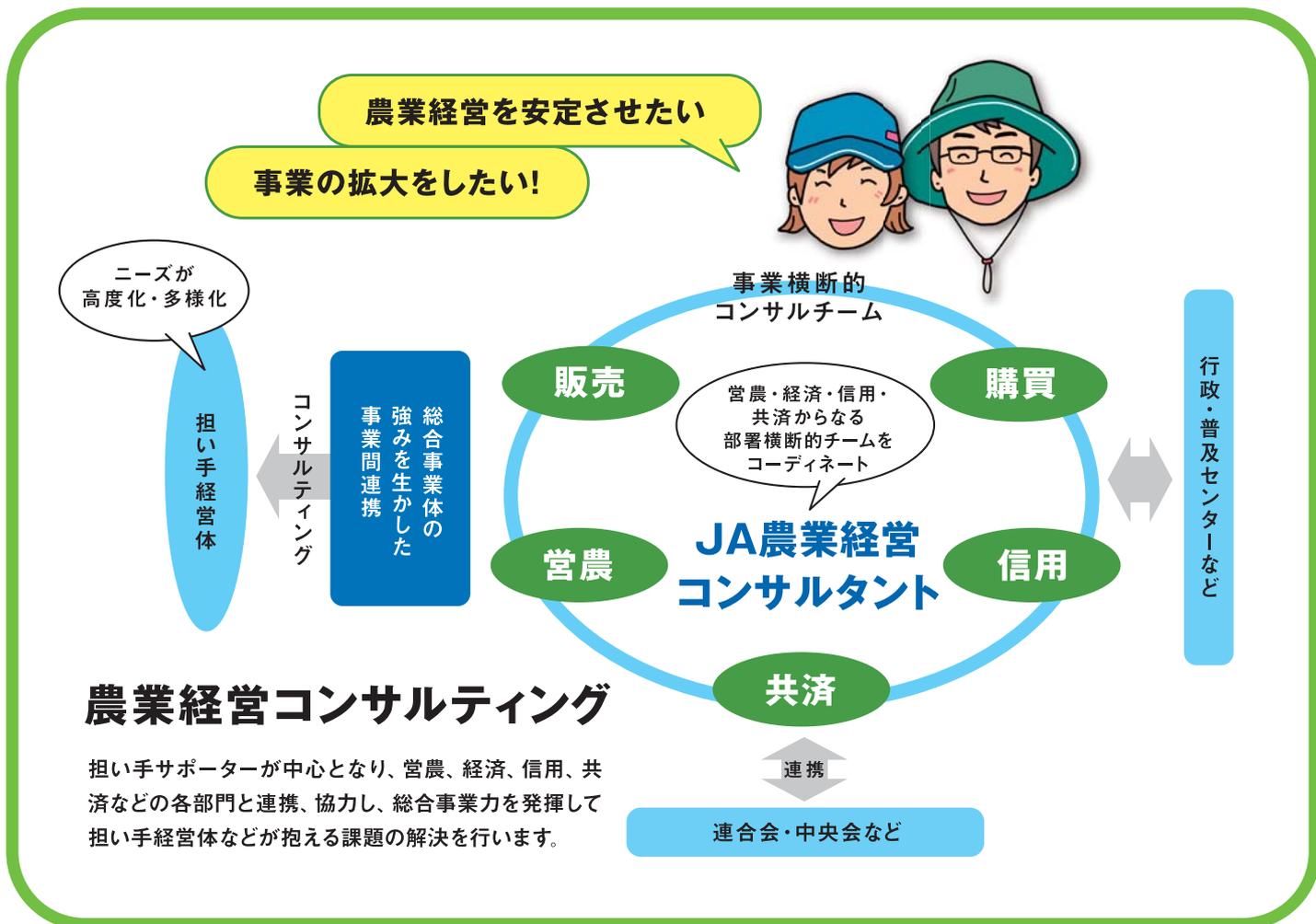
## 【組織強化プラン】

地域の農業と豊かな食を守り未来につなぐ組合員の加入促進、意識醸成、関係性強化に取り組むとともに、多様な組合員との対話に基づく組織運営により、協同組合としての組織力を高めます。また、自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた組合員との徹底した対話により、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。

## 【経営強化プラン】

将来にわたり農業振興・地域活性化の取り組みを継続するため、総合事業経営を継続するなかで、収支改善の取組強化と新たな事業の創造を伴う経営資源の選択と集中による収支構造の再構築、業務の効率化による生産性向上、コンプライアンス経営の実践等により、経営の強化・安定化を図ります。

# 興プランの一部をご紹介します。



香川県産農畜産物のブランド力を高めたい

付加価値をつけて販売したい

より多くの人に買ってもらいたい

## マーケティングマネージャー

マーケティング・マネージャー（産地を理解した販売担当者）の育成を目標に、東京営業所、大阪営業所、販売力強化推進室（香川県）で販売担当者の実務研修を行います。

## さぬき旬彩館

ネット販売サイト「さぬき旬彩館」の充実に取り組んでいます。品揃えの充実はもちろん、レイアウトの刷新や店舗のブランディングなどを行い、一般消費者向けの販路開拓と県産農畜産物の販売拡大を図ります。

# みんなで地域農業を盛り上げよう!

# 農業振

農業も新しい技術をどんどん取り入れないと

持続可能な農業経営を実践したい

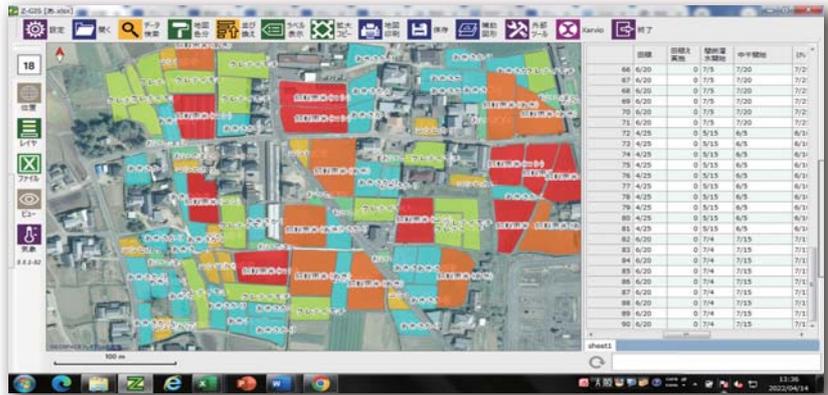
これからの農業は農地保全や環境への意識も重要



## 農業DX・みどりの食料システム

持続可能な農業に向けて、農業DX※1に取り組めます。農業DXとは、デジタル技術で農業の抜本的な変革をもたらそうという考えです。スマート技術の「Z-GIS※2」や「あい作」の活用、営農指導の映像化により栽培技術の継承を行う「アグリスマイル」の普及、再生可能エネルギーの活用に向けた営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の取り組み検討などを行います。

また、環境に配慮した農林水産省が示す「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、農業のCO<sub>2</sub>排出の削減、低リスク農業への転換、土壌診断、化学肥料の使用量削減に向けた検討を進めます。



Z-GISの画面イメージ



ソーラーシェアリング

※1 農業DXは、DX（デジタルトランスフォーメーション＝デジタルで抜本的な変革をもたらそうという考え）を農業に当てはめて、デジタル技術で農業の抜本的な変革を目指そうという考えです。

※2 Z-GISは「全農営農管理システム」。GIS技術とは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。園芸部門では、営農支援システム「あい作」を活用した出荷予測システムや栽培ハウス内の環境制御システム「さぬきファーマーズステーション」を試験運用中です。

今年度も米価が低下するのでは…?と心配だ

JAは何か対策をしてくれるの?

## 播種前複数年契約

米の安定取引のため、米卸販売業者との播種前複数年契約に取り組んでいます。販売業者と事前に今年度販売する米の数量を決定しているので、生産者の皆さまには安心して出荷していただけます。



# 性化プランの一部をご紹介します。

支店統廃合が行われて不安…

今まで通りのサービスは受けられるの？



## LPA(ライフプランアドバイザー)・ オンラインサービス

今回の支店統廃合で、高度な提案が行えるLPA<sup>エルピーエー</sup>※(ライフプランアドバイザー)の育成体制を強化して

います。これにより地域の皆さまに寄り添い高度なサービスを提供することができます。また、オンラインサービスも充実させ、皆さまの利便性向上を目指します。



※ LPAとは…利用者の一生涯にわたる「つかう・ためる・そなえる・ふやす・のこす」といった総合的な金融ニーズに応え、総合的な提案ができる担当者のこと。

産直大好き! もっと充実させてほしい

地元産野菜や果物の情報を知りたい



## 直売所利用者 モニター制度の実施

当JAには組合員以外の皆さまも気軽に利用できる事業やサービスがたくさんあります。たとえば農産物直売所です。地域の出品者が出品する新鮮な農畜産物を購入することができます。令和4年度には「直売所利用者モニター」を募集し、ご利用者の意見を広く集めて店舗運営に反映させ、よりよい農産物直売所となるよう努力していきます。



# “誰もが主役”のコミュニティを未来へ!

# 地域活

子どもたちに「食」と「農」の大切さを伝えてほしい

子育て家庭や子どもたちを応援してほしい



## 支店協同活動

支店協同活動として、児童や生徒を対象とした食農教育に取り組んでいます。「食べる」という行為そのものだけでなく、農業活動を知り、体験することでその背景にある動物や植物の「いのち」と農業が果たす役割を伝え、「食」と「農」の目に見えないつながりと価値を伝えていきます。



## NPO法人との連携

令和4年4月25日に高松市の丸亀町商店街にオープンした「讃岐おもちゃ美術館」と連携して「食」と「農」に関するワークショップを開催し、子どもたちに香川県の農畜産物の魅力を伝承していきます。ほかに、香川県社会福祉協議会やNPO法人などと連携して、ひとり親家庭や生活困窮者家庭の食の支援を行っています。



若い世代にも香川県の「食」と「農」を伝えてほしい!

## SNSなどを活用した情報発信

JAをよく知らないミレニアル世代やZ世代にも当JAの取り組みを知っていただくため、SNSでの情報発信に積極的に取り組んでいます。令和4年度からはタウン情報誌「ナイスタウン」とも連携し、情報の発信を行っていきます。



JA香川県  
Facebook



JA香川県  
Instagram



JA香川県  
YouTube



50年後・  
100年後を  
目指して!

# 組織強化プラン・ 経営強化プランの 一部をご紹介します。

## 組織強化プラン



昔の農協に比べて職員との距離が遠くない?

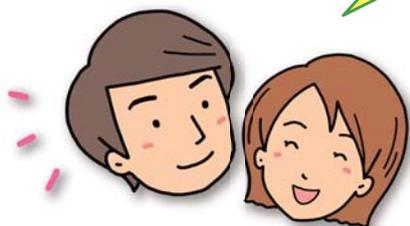
### 一日訪問

職員が組合員の皆さまのご自宅へお伺いする「一日訪問」。皆さまとの対話で直接ご意見などをお伺いできる貴重な機会として、今後も実施していきます。いただいたご意見などは組合運営に反映させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて訪問いたします。ご理解・ご協力をお願いいたします。



准組合員ですがJAにもっと参画したい



### JA香川県パートナーズクラブ(仮称)

今まで行っていた准組合員交流会に加え、「JA香川県パートナーズクラブ(仮称)」を設立します。准組合員の皆さまに当JAの業務を知っていただくとともに、広くご意見をいただきながら意思反映・運営参画に向けて取り組んでいく組織です。

## 経営強化プラン

### 組織の運営を担う人づくり

組合員・利用者に寄り添い、組合員・利用者のために行動できる職員を育成するため、各種研修に取り組みます。また、大きく変化する時代に対応した事業運営を行うため、新規事業を立案できるイノベーション人材<sup>※1</sup>やデジタル技術への理解が深いデジタル人材<sup>※2</sup>を育成します。



※1イノベーション人材とは、商品・サービス、生産、組織、マーケティングにおいてイノベーション(技術革新)を起こすことができるスキルを持つ人材のこと。

※2デジタル人材とは、組合員や地域のみなさまのニーズに基づき、デジタル技術を活用した商品・サービスの企画・提案、業務プロセスの変革を行うことができるスキルを持つ人材のこと。



詳しくは、5月の一日訪問で配布する「第7次中期経営計画」も合わせてお読みください。



伝えよう  
繋げよう  
**かあちゃん**の味  
つくってんまい  
たべてんまい  
おいしいでえ



JA香川県  
女性部

JA香川県女性部は令和2年、各地域で取り組んでいる  
地産地消料理を集めて一冊のレシピ集をつくりました。  
その中から1品ずつご紹介していきます。



調理時間  
60分

## 彩りよく、見た目も華やか 鯖の押し寿司

### 材料[4人分]

- 米 …………… 3合  
 昆布 …………… 適量  
 A 酢 …………… 60ml  
 砂糖 …………… 84g  
 塩 …………… 9g  
 中の具  
 にんじん・ごぼう …………… 各½本  
 干しいたけ(水でもどす)… 4枚  
 油揚げ …………… ½枚  
 こんにゃく …………… ¼枚  
 B だし汁 …………… 240ml  
 砂糖・みりん・醤油・酒 …… 各大さじ1  
 上の具  
 鯖(刺身用)・薄焼き卵・ゆでえび・  
 味付き穴子(細切りにする)・  
 絹さや(ゆでる)・桜でんぶ・  
 山椒の葉 …………… 各適量

### 作り方

- ①米は洗ってざるにあげ、30分ほどおいて昆布を入れて炊く。合わせたAを加え、混ぜてすし飯を作る。
- ②中の具は細かく刻み、Bで味がしみるまで煮る。
- ③上の具の鯖は塩(分量外)をふって甘酢(分量外)につけておく。
- ④押し抜き型に①を置き、中の具を適量入れ、その上に①を詰め、上の具を配色よくのせ、上から押して型から抜く。

### ポイント

外から中の具が見えないようにします。



## JA香川県WEBガイド



タウン情報誌「ナイスタウン」と連携し、香川県の旬の農産物を使ったレシピや農産物直売所を紹介しています。JA香川県のInstagramとYouTubeでもレシピを発信中ですので、フォローしてみてください。

JA香川県  
Instagram



JA香川県  
YouTube



### 編集後記

桜の季節も終わり、新緑の季節となりましたね。3月から行っている「ほっとめーる・数独」(本誌21ページ)のWチャンスキャンペーン「かがわのお米を食べよう!」も5月が最終月。すでに当選された皆さま、おめでとうございます。まだの皆さまもこの機会にぜひご応募ください!(M)